

整理番号	19-28	事務事業名	慰霊祭事業		作成部署	保健福祉部 福祉課	電話	内線800
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	上村 弘志	課長職名	小西 洋一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度		根拠法令等						
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	先の大戦における市の戦没者に対し、追悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにするため、開村記念日に「戦没者慰霊祭」を行った。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	いきいきとした交流と連携のまち	(第 3 章)
	節	平和と人権	(第 4 節)
	施策	平和都市づくり	(第 1 施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	北広島市遺族会会員、戦没者遺族、一般市民と市関係者	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	戦没者に対し追悼の誠を捧げるとともに、市民の恒久平和を念願する意識の高揚をめざす。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	北広島市遺族会会員、戦没者遺族に案内状を送付し、一般市民には広報紙で周知する。 慰霊祭を開村記念日の5月23日に挙行し、内容としては、慰霊碑に祭壇を飾り、黙とう、式辞、追悼の辞、慰霊のことは、献花を行う。
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	15	18	15	15
	一般財源	204	198	223	223
	合 計	219	216	238	238
人件費 (概算)	人 数(年間)	0.02	0.02	0.02	0.02
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	180	180	180	180
総事業費 +		399	396	418	418

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	案内状発送数	199人	151人	149人	150人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	参加人数	101人	82人	91人	90人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	参加者1人当たりのコスト	3,950円	4,829円	4,593円	4,644円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	それぞれ実施時期は違うが、慰霊祭を挙行している。
---------------------------------	--------------------------

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	亡くなった市民に対し、恒久平和を願い追悼することから市が実施すべきである。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	各市の実施状況や世界情勢から考えても、恒久平和の維持は今後も必要である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	戦没者遺族の高齢化が進んでいるが、参加人数は一定程度確保されている。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	平成15年度以降、90人前後の参加者となっており、一定程度の成果はあがっているものとする。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	現段階では決して華美でなく、むしろ祭壇周りも質素な式典であり、効率的であるとする。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	恒久平和を願う観点から、今後ともより多くの市民参加を呼びかけていく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	戦没者の慰霊とともに、平和意識の普及・啓発を推進する意味でも参加者の拡大を図る。